

SIIEJ2023 Workshop C

学生と共に創る、魅力ある「国際共修」 報告

日時

7月21日（金）9:00-12:00

発表者

末松 和子（東北大学）
高橋 美能（東北大学）
渡部 留美（東北大学）
小嶋 緑（東北大学）
中野 遼子（東北大学）
米澤 由香子（東北大学）

参加人数

25名（対面）

報告者

米澤 由香子（東北大学）

本文：

今年度の SIIEJ 国際共修ワークショップは、学生とともに「地域連携に注目した」国際共修を計画するグループワークをおこないました。参加者は、東北大学で学ぶ留学生および国内学生とともに、7グループに分かれて国際共修授業を計画しました。

約1時間のグループワークの成果として、「地域の食材をグローバルにおいしく味わえる料理を考える」、「日本の労働社会を知り、留学生など外国人が就職・起業しやすい社会を考える」、「学生・企業・住民により地域交流のお祭りを創る」などの魅力的な企画があがりました。さらに、グループワークの後には、これらの創り上げた企画を参加者の大学で実際に取り入れるとしたらどのような課題があり得るか、という点でのディスカッションも重ねられました。

最後におこなったワークショップ全体の振り返りで聞かれたのは、国際共修をデザインする企画者としての視野の広がりです。参加者からは、「グループワークに学生が参加してくれたことにより、授業計画の段階から学生側の視点をもつことの重要性がわかった」、「地域のリソースを大学や学生が得るだけでなく、大学の国際共修に参加する地域の人々がそれによって得られるかもしれない利益をも検討する、ということ意識化できた」、「一つの対象を取り上げるとしても（例えば、かつて栄えていた街の再興）、年代や文化的背景の異なるステークホルダーでは、見てきた景色がまるで違う。そうした視点の違いを意識しながら国際共修授業を計画するという柔軟さが大切だと分かった」という声が聞かれました。